

# 平成30年度 災害廃棄物処理計画策定モデル事業業務 (恵庭市)

恵庭市において、災害に伴い発生する廃棄物の処理について調査・検討を行うとともに、想定される課題を整理し、災害廃棄物処理計画策定を目指してモデル事業を実施した。今後、関係機関とさらに連携を深めながら、処理計画策定に向けた取組を進める。

## モデル地域の概要と想定される災害

### モデル地域の概要

#### 地域的特徴

石狩平野の南端で内陸に位置し、中央部の市街地は住宅が密集しており、北東部には農耕地が広がっている。西部の山林と原野を源とする複数の河川が市の中央部を貫流し千歳川に合流している。

#### 平時のごみ処理状況

市街地を挟み東西に焼却施設(平成32年度より稼働予定)、最終処分場が立地する。

#### 対象とする災害

[地震] ・石狩低地東縁断層帯南部の地震

[水害] ・石狩川水系漁川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



## 災害廃棄物発生量等の推計

地震については、対象とする災害における被害想定結果を用いて、「災害廃棄物対策指針」や環境省本省検討会資料をもとに、災害廃棄物発生量等の推計を行った。

水害については、浸水想定区域図をもとに建物被害棟数及び世帯数を整理し、災害廃棄物対策指針を参考に災害廃棄物発生量を算出した。

### 災害廃棄物発生量の推計結果

	災害廃棄物発生量(千t)						合計
	可燃物	不燃物	コンクリートがら	金属	柱角材	津波堆積物	
石狩低地東縁断層帯南部の地震	21.6	21.6	62.5	7.9	6.5	-	120.1

水害の災害廃棄物発生量は、78,677トンと推計された。

## 片づけごみ・避難所ごみ発生量、仮設トイレ必要基数の推計結果

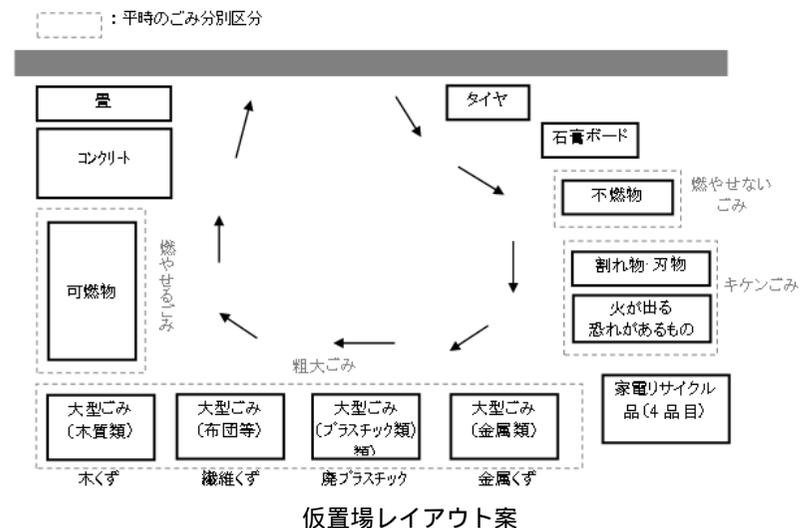
対象災害	片づけごみ発生量 (t)	避難所ごみ発生量 (t/日)	仮設トイレ必要基数 (基)
石狩低地東縁断層帯南部の地震	1,487	3.9	80

## 仮置場の検討

災害廃棄物発生量等の推計結果を用いて、「災害廃棄物対策指針」や環境省本省検討会資料をもとに、仮置場必要面積を推計した。また、仮置場の選定方法、運営・管理方法について検討するとともに、平時のごみ分別区分をもとに仮置場レイアウト案を検討した。

### 仮置場必要面積推計結果

対象災害	住民用仮置場 (ha)	一次仮置場 (ha)
石狩低地東縁断層帯南部の地震	0.30	4.11

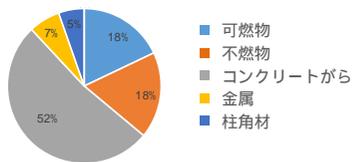


# 平成30年度 災害廃棄物処理計画策定モデル事業業務 (恵庭市)

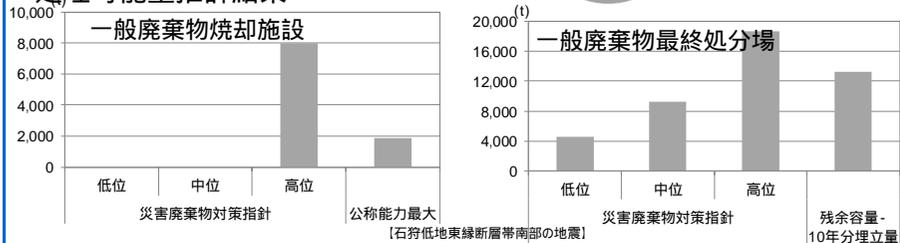
## 災害廃棄物の処理方法の検討

災害廃棄物の種類別発生状況や、既存施設の処理可能量推計結果をもとに、処理方法を検討した。また、地域特性から想定される処理の緊急性について整理した。

災害廃棄物の種類別割合  
石狩低地東縁断層帯南部の地震

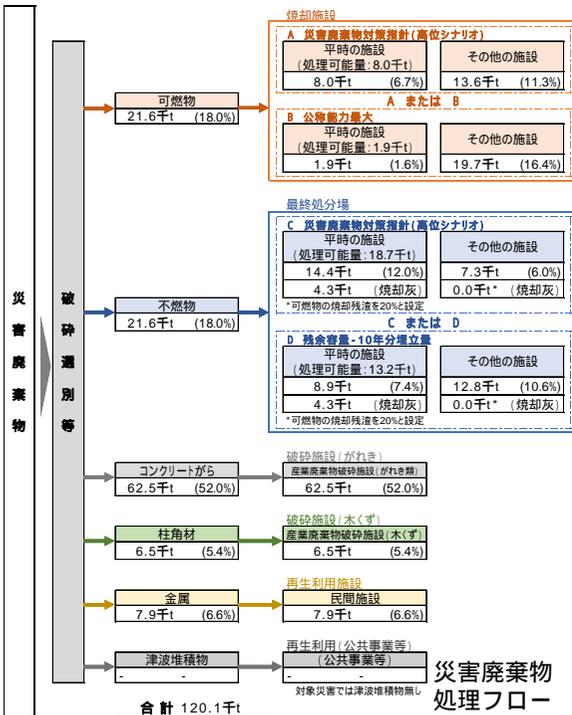


処理可能量推計結果



恵庭市では、対象とする石狩低地東縁断層帯南部の地震において、可燃物及び不燃物ともに平時の施設では処理可能量が不足すると想定される。災害時には、被災状況に応じて他自治体や民間事業者へ支援要請を行うとともに、再資源化を図りながら処理を進める方針とする。

一方、市内には食品工場が立地するほか、田畑が多く存在する。製造・流通業に伴う加工食品が、水害時には農作物が、被災により腐敗性廃棄物として発生する可能性があることから、緊急度に応じて処理方法の検討を行う。



## 災害廃棄物の処理体制

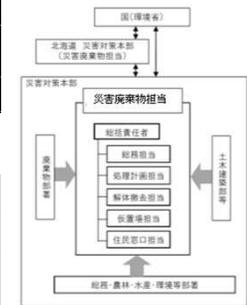
災害廃棄物については、主に環境対策班のうち廃棄物管理課が対応するが、庁内関係部局とも連携を図る。また、協定等に基づき、他自治体や民間事業者にも必要に応じて支援要請を行い、処理体制を構築する。

### 災害廃棄物処理に関わる実施事項と市担当部局

災害廃棄物処理に関わる実施事項	担当
廃棄物等の収集・処理(倒壊建物のがれき、生活ごみ、し尿)	生活環境対策部
障害物の除去(道路、住居等又はその周辺に運ばれた土砂、樹木等で生活に著しい障害を及ぼしているものの除去)	建設対策部
ボランティアの対応(活動調整、受入れ体制、事前の育成など)	支援対策部

### 災害廃棄物処理に関わる民間事業者との協定

協定名	協定先	関係する内容
災害時における恵庭市建設業協会の協力に関する協定	恵庭市建設業協会	道路啓開、道路の応急復旧等
災害時における応急物資供給に関する協定	㈱カナモト 千歳営業所 西尾レントオール㈱	仮設トイレや重機等



## モデル地域で想定される発災時の課題及び対策

発災時に想定される課題	対策案
処理施設へのアクセス道路断絶 ・河川の氾濫等により処理施設へのアクセスが断絶される可能性がある。	・道路の寸断状況に応じた災害廃棄物の仮置場への保管 ・公有地をはじめとした仮置場の選定及び関係部局との事前調整
処理施設の一時的な稼働停止 ・被災により一時的に稼働を停止した場合を想定しておく必要がある。	・域内の民間事業者との協力体制を構築して処理 ・北海道を通じて、道内の他の自治体との協力体制を構築して処理 ・協定に基づく支援要請及び受援に向けた平時の備え